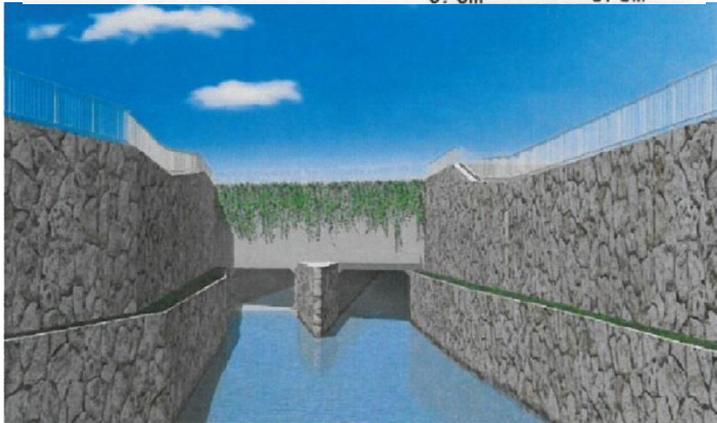
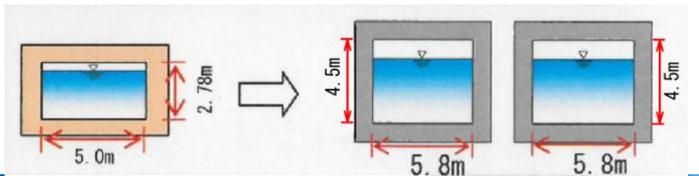


安謝川 (河川整備事業)

河口から約2.4kmまでの区間は概成しており、浸水被害は軽減されたが、那覇市安謝の国道330号上流では、まだ浸水被害が発生している状況であるため、現在は国道330号を横断するボックスカルバートを大きくし、浸水被害の軽減を図っている。

- 総事業費：198億円（うち国費178億円）
うち、ハード交付金68億円（うち国費61億円）
- 事業期間：昭和47年度から平成36年度



完成予想図(下流側)

安里川 (河川整備事業)

那覇市の中心部を流れる安里川は蛇行し狭小な川であったため、浸水被害が発生していた。整備については、下流側から順次進めており、浸水被害の軽減に努めている。

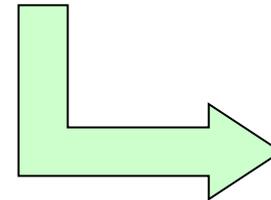
安里地区では再開発事業と一体的な整備を行い、賑わいの場としての空間を創出している。

- 総事業費：387億円（うち国費348億円）
うち、ハード交付金37億円（うち国費33億円）
- 事業期間：昭和47年度から平成39年度



【整備前】

【整備後】



天久(1)地区(那覇市) (急傾斜地崩壊対策事業)

がけ高18m、勾配36°の急傾斜地の上部及び下部には、要配慮者利用施設を含む民家25戸が近接しており、斜面からの落石などが確認され、大変危険な状況にあった。

このため、急傾斜地崩壊防止対策を実施し、要配慮者利用施設及び地域住民の安全と、安定した生活の確保を図った。

- 総事業費 1.9億円(うち国費0.97億円)
うち、ハード交付金1.3億円(うち国費0.65億円)
- 事業期間：平成21年度から平成26年度
- B/C : 8.17



【整備前】



【整備後】

安和与那川(名護市) (砂防事業)

平成10年10月の集中豪雨により溪岸が浸食されるとともに多量の土砂を含む洪水が氾濫し、沿川の集落での床上浸水3件、床下浸水5件や農作物への多大な被害が発生し、被害が発生している。

このため、既設の砂防ダムから下流において流路工を整備し、溪岸崩壊による土砂発生防止、洪水氾濫の防止を行う。

- 総事業費 15.0億円(うち国費13.5億円)
うち、ハード交付金11.3億円(うち国費10.17億円)
- 事業期間：平成18年度から平成33年度
- B/C : 2.08



①下流での氾濫状況(H10.10)



②溪流の荒廃状況

